

平成24年度
市民活動支援事業

成果報告書

は じ め に

少子高齢化や過疎化などが進行する今日の社会情勢の中で、地域の抱える課題や市民ニーズも複雑・多様化していることに伴い、市民が自発的に地域の課題を解決していこうとするボランティア活動や市民活動が活発化し、その活動領域も拡大してきています。

このようなことから、本市においては、平成20年3月に「第一次霧島市総合計画」を策定し、政策の一つに「共生・協働のまちづくり」を掲げ、市民参加によるまちづくりを推進しており、平成22年3月には、その指針となる「霧島市共生・協働に関する指針」を策定し、行政だけでなく地区自治公民館・自治会やボランティア団体、NPO団体などが相互の理解と信頼のもと、それぞれの果たすべき責任と役割を自覚し、対等の立場で、共通の目的を達成するために連携・協力しながら、地域の様々な課題の解決や必要なサービスの提供を行うこととしております。

「霧島市市民活動支援事業」は、「共生・協働のまちづくり」を推進するため、平成20年度から、市民活動団体が自主的かつ主体的に創意工夫しながら行う公益的・公共的な活動に対して、その経費の一部を補助するという事業であり、これまでの5年間で、76団体、総事業費約4,560万円、補助金総額2,053万円という実績を挙げており、徐々に、市民に広く浸透しつつあります。

平成24年度は、14団体がこの制度を活用し、様々な活動に取り組み、まちづくりの推進を図る活動や、学術・文化・芸術又はスポーツの振興を図る活動、子どもの健全育成を図る活動など、本市における喫緊の地域課題に取り組む素晴らしい活動が行われたところです。

この「平成24年度霧島市市民活動支援事業成果報告書」は、これらの事業の活動内容や成果等を広く市民に知っていただくとともに、今後の市民活動の参考としていただくことにより、「市民との共生・協働によるまちづくり」が本市全体に更に広がることを期待して取りまとめたものです。

目 次

◆ 平成24年度霧島市市民活動支援事業 実施団体成果報告

1	特定非営利活動法人 霧島食育研究会	1
2	佳例川を語る会	4
3	語りの会 あもり	6
4	特定非営利活動法人 霧島シニアネット絆	8
5	エコミュージアム福山	11
6	オーシャンビューガーデンクラブ	13
7	きりしま創造舞台	15
8	日当山会	17
9	日当山夏祭り実行委員会	19
10	霧島市子ども囲碁教室実行委員会	21
11	霧島隼人秋の収穫祭実行委員会	23
12	隼人宮内会	25
13	ニコニコ会	26
14	特定非営利活動法人『人権を守る会かごしま』	29

〈 参 考 〉

・ 平成24年度 霧島市市民活動支援事業募集要項（抜粋）	31
・ 平成24年度 霧島市市民活動支援事業応募・採択内訳	32
・ 平成24年度 霧島市市民活動支援事業 実施結果	33

第2期 霧島食育サポーター養成講座

～「すがめちゃん食育プログラムの実証」～

< 特定非営利活動法人霧島食育研究会 >

事業費：750,917円

市補助金：375,000円

目的 (背景・課題)

背景

霧島市において、多くの市民が「食育」については興味があり、その中でも、生活習慣病の増加、子どもの心身の健全な発育に、高い関心を寄せている。また、地産地消の重要性も認知しているものの、実際の行動に結びつく割合は高くはないという現状にある。(平成20年度霧島市食育推進計画より)

当研究会では、その現状を踏まえ、平成20年度より、当補助事業を活用し、「霧島一汁二菜事業」や「霧島おにぎりプロジェクト」等を展開し、その後もこれらの活動は内容を充実させ継続している。その中で、課題となっているのが、一般的市民および若者世代の「食育」の意識の薄さと体験の無さだった。

課題

このような状況を踏まえ、若者世代も含む多くの世代の人々が、ひとりひとりが現在の食生活をかえりみ、生活の質を高め望ましい食生活を営む力をつける必要があると思われる。そのために、①適切な食品を選び、調理するための知識・技術の習得②「食事が楽しい!」と感じることのできる環境作り③旬の食べ物の味の違いや、素材の特徴、出汁の風味が分かる味の教育④食品の生産から消費までの社会の仕組みや、環境問題の中で「人が食べて生きていく」という意味を知る教育、など「豊かな食体験」とそれを促す教育が必要であると感じた。

平成23年度は、当補助金を活用し、「霧島食育サポーター養成講座」を開催し(研修会5回開催、延べ参加者59名、食育サポーター認定者20名)、

その内容をまとめた「すがめちゃん食育プログラム」冊子を作成した。

平成24年度以降も、市民を対象に食育リーダーの育成講座を行い、一般市民および若者への食に対する意識と行動の変化を促す必要がある。さらに在居住地および職場・学校等での食育活動の活性化が求められる。

目的

養成講座に際しては、平成23年度作成の「すがめちゃん霧島食育プログラム」を活用し、一般市民および若者への食に対する意識と行動の変化を促す。さらに、平成23年度霧島食育サポーター取得者に対し、実践型の研修会を開催し、食育普及の指導を行う。

また、「すがめちゃん食育プログラム」を、一般市民にも実費配布することで、多くの市民に「食育」の取り組みを促す。

夏コース 5月25日



事業内容

1 霧島食育リーダー養成講座の開催

対象者①成人向け 前期・後期 全6回

参加者 37名

②高校生向け 中期 全3回

参加者 11名

内容①成人向け

前期 5月25日・6月22日・7月27日

後期 9月21日・10月19日・11月9日

霧島の食材で地産地消クッキング

霧島版 食事バランスガイド

田んぼで稲刈り&はがま炊飯体験

霧島地大豆で豆腐作り

霧島の食べ物生産現場&直売所研修

霧島の恵み里山創作料理の実習

私の食育活動計画作り&発表 など

②高校生向け 8月8~10日 3日間

40分で整える1人の自立食卓(一汁二菜)

60分創る大切な人への食卓

調理の基本 鹿児島県の食料事情

日本の食料受給率・食の安全・安心

私にできる「日本の食」を守る方法など

2 平成23年度霧島食育サポーター取得者向け研修会の開催

全2回 8月3日・9月7日 参加者 11名

これまでの活動発表

竹等の天然素材を使った食育教室

簡単燻製教室

今後の活動予定の話し合い など

3 教材の実費配布

事業の成果

1 霧島の食文化への興味啓発および地域に根ざした食育活動の啓発

霧島市民の人々が、自分の住む地域の食べ物に興味を持ち、その食べ物を中心におき、耕したり、料理したり、また伝えていくことで、自分の住む場所への誇りや自分が育った環境、親や

子への思いを改めて強く感じていくことが出来たのではないかと考える。「そこにあるもの」を活かし、その風土、暮らし、歴史に経緯を払いながら、光を当てていく「霧島ならではの食育活動」が、地元への誇り・愛情・感謝の念をもたらすことにつながったといえる。

2 「食育」を通じた青少年の育成

参加者、特に青少年(高校生)が参加しやすい呼びかけや広報に努め、主催者と参加者といった対局ではなく、一人ひとりが参画者として取り組み「一人ひとりを主役にする」取り組みを実施して、終了後も青少年自信が「健康的な食生活」「自然環境と食」を通して、住みよく、郷土に誇りを持ち、明るく健康で生きる地域社会の創造に寄与できた。

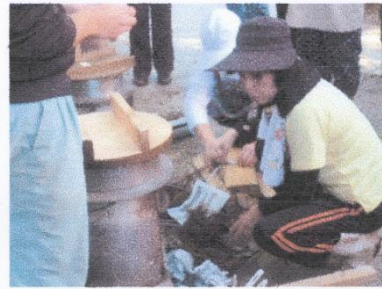
夏コース 6月22日



自己評価

1. 事業効果
期待した効果が上がった。
2. 改善すべき課題
なかった。
3. 予算執行
ほぼ予定どおり執行できた。
4. 今後の展望
来年度も継続し、更にこれまでの参加者が、それぞれのコミュニティの中で、食育推進を図れるように支援していきたい。
5. その他
特になし。

夏コース 7月27日



秋コース



団体情報

〈団体名〉 NPO 法人霧島食育研究会

〈代表者〉 千葉 しのぶ

〈設立日〉 平成 17 年 9 月 15 日

〈会員数〉 13 人

〈主な活動内容〉

1. 「霧島・食の文化祭」平成 16 年 11 月～年一回開催 現在 8 回開催 延べ参加者 8,200 名 述ベスタッフ数 1,030 人
2. 「霧島の子どもと大人のための食育プログラム」平成 16 年 4 月～現在
3. 「霧島食べ物伝承塾」平成 17 年 4 月～現在 56 回開催 延べ参加者 800 名
4. 「霧島・畑んがっこ」子ども組 平成 17 年 6 月～現在
5. 「霧島・畑んがっこ」畑遊び組 平成 21 年 4 月～現在
6. 鹿児島・大人のための食育セミナー 平成 19 年 4 月開催
7. 棚田食育士養成食育実践講座開講 平成 19 年 7 月～現在
8. 南日本新聞「鹿児島食育レシピ」掲載 平成 18 年 4 月～現在

〈連絡先〉

所在地 〒899-4201

霧島市霧島田口 1653-2

TEL 0995-57-0215 (FAX 兼用)

佳例川活性化事業

<佳例川を語る会>

事業費：254,972円

市補助金：168,000円

目的（背景・課題）

元気なふるさと再生集落（限界集落）である佳例川地区の活性化を図るため伝承されて来た祭りを守り、佳例川産米のPRを行う。

復活したお田植え祭を継続開催し、「佳例川」の文字通り清流で育まれた佳例川産米のPRを行い、多くの人に来訪してもらう契機作りを行う。

初年度は米のパッケージ作りを行い、米作りを魅力あるものとして農地保全を容易にし地区活性化を図る。

事業内容

元気なふるさと再生集落（限界集落）である佳例川地区の活性化を図るため伝承して来た祭りを守り、佳例川産米のPRを行った。

- 4月12日 総会
- 5月3日 羽山祭り支援
- 5月15日 例会（お田植え祭の内容について）
- 5月20日 米PR（東牧之原地区運動会賞品に採用・雨天中止。下牧之原・西牧之原地区へも来年度採用を依頼）
- 6月24日 お田植え祭開催 鹿児島大学農援隊・志学館大学生など参加計70名
- 8月2日 例会（米袋の内容検討・鹿児島大学との連携について）
- 8月11日 ふくふくランド夏祭りの賞品に米採用
- 9月9日 例会（米袋の内容検討）
- 9月26～28日 鹿児島大学農学部の農村調査受け入れ協力（地区自治公民館が受け入れ・2泊3日14名参加）
- 10月11日 例会（米袋のPR手法等について）
- 10月 米袋完成・新聞社へPR

鹿児島大学農学部を通じて支援企業へ打診

かごしま産業支援センター・南生建設へPR

- 10月26日 例会（米の発送方法の検討）
- 11月23日 収穫祭開催 宝探しなど実施
- 11月29日 県の共生協働のむらづくり活性化事業推進検討会の佳例川現地視察・室内検討会で源流水車米をPR(46名参加)
- 1月1～2日 飯富神社の初詣客へ米PR
- 1月8日 トヨタ車体研究所へ米PR（4名）
- 1月15日 例会（米袋の発送方法の再検討）
- 1月27日 トヨタ車体研究所他との交流会（35名）
- 2月6～7日 トヨタ車体研究所の社員食堂で源流水車米を採用（4名試食参加）
- 3月4日 例会（新販売先の検討・年間反省）



「物語の世界」～子どもたちに伝えたい、たいせつなもの～

<語りの会 あもり>

事業費：171,216円

市補助金：113,000円

目的（背景・課題）

子どもを取り巻く人間関係が希薄になっている現在、言葉の貧しさが一因にあるのではないかと。子どもたちがさまざまな生き方や意識、世界との関わり合い方が著されている昔話や本を生の声で聞くことで語り手と聞き手の間に暖かい関係が築けることを知り、言葉への信頼を取り戻すきっかけになることを目的とする。また、子どもに関わる大人が昔話や本、語りの楽しさ、大切さについて学び実践することにより心豊かな子どもたちの育成を図る。

事業内容

外部講師を招き、講演会、語りについての学習会、おはなし会を開催する。講演会では多くの大人に昔話や語りや子どもの本について、その楽しさ、大切さを理解してもらう。

また講師による語りの実践を学び、語り手の技術の向上を図る。おはなし会では、講師の多彩なおはなしや詩を子どもたちと一緒に楽しむ。

① 講演会の実施

10月13日（土）14時～15時50分 参加者数一般 67名 演題「子どもに本の楽しさを」（資料配布・資料本の展示）

② 語りの学習会の実施

10月13日（土）16時10分～18時50分 参加者数一般 36名 語りの実践と講評、講師の語り（会員による語り、講師による講評・講師の語り・プログラム配布）

③ おはなしと詩を楽しむ会の実施

10月14日（日）10時30分～11時40分 参加者数子ども 25名・一般 42名 おはなし会（語りと絵本の読み聞かせ・プログラ

ム配布・資料を配布して詩を声に出して楽しむ）

霧島市児童発達支援事業
伊藤明美さんの講演とおはなし会
～ 子どもに本の楽しさを ～

語りの会あもりでは、5年ぶりに伊藤明美さんをお迎えして、講演会とおはなし会を開きます。子どもが昔話や本を生の声で聞くことの大切さを一緒に学んでみませんか。みなさまのご参加をお待ちしております。

＜ 講演会 ＞		＜ おはなしと詩を楽しむ会 ＞	
日時	2012年10月13日(土) 14:00～15:40	日時	2012年10月14日(日) 10:30～11:30
会場	サン・あもり	会場	サン・あもり
演題	「子どもに本の楽しさを」	内容	おはなしと詩を楽しむ
参加費	700円（定員 70名）	参加費	子ども 無料 大人のみ 100円
対象	一般	申し込みは不要	
		対象	5才以上～大人

※会場は、ホテル京セラの裏(川柳いり)です

＜ 語りの学習会 ＞

日時 2012年10月13日(土)
16:00～18:00

会場 サン・あもり

内容 語りの実践(会員)と講評

参加費 500円（定員 30名）

対象 一般（聴講のみ）

※（講演会）（語りの学習会）へのご参加は電話、FAXで9月10日より事前申し込みが必要です。定員になり次第、締め切らせていただきます。なお参加費は当日お持ち下さい。

※（おはなしと詩を楽しむ会）以外は小さいお子さんを連れての参加はご遠慮ください。

主催 語りの会 あもり 後援 霧島市・霧島市教育委員会

【講師紹介】
伊藤 明美 氏
日本図書館協会資料館（児童図書センター）勤務後、1982年より現在まで千葉県浦安市立中央図書館勤務、朝日新聞「子どもの本棚」書評委員、東京書籍中学国語教科書編集委員、ブックススタート絵本選定委員などを歴任。現在、小樽俊夫主宰の晋ばなし大学講師。

さりとせ せん
個人情報他で使用することはありません。

参加申込書

お問い合せ・参加申込先
語りの会 あもり
宮崎 (TEL) FAX
0995-43-6449
竹 (TEL) FAX
0995-42-1975

事業の成果

3つの事業の実施により、たくさんの方々に、子どもにとって本やおはなしがその子の一生を支える大切なものであることを認識してもらえた。

家庭や学校、図書館関係者が身近な子どもに本や物語を手渡してくれることが期待される。また、おはなし会に参加してくれた子ども達は、体ごと言葉を楽しんだ経験を生かして、本やおはなしを耳で聞くことを継続してくれると思う。

また、語り手として実践を深めて、よりたくさん子ども達におはなしを届けられることができるようにしたい。講演会の参加者の中には、子どもにとって大切なことは大人にとっても大切なこ

とだという感想があり、次の日のおはなし会にも多数の参加がみられた。



話りの学習会
プログラム

<p>1 詩 かめのぼや くどうなお作 『くどうなお詩集〇』童話屋</p> <p>2 あなのはなし マリアーク作 『おはなしのろうそく 4』東京子ども図書館</p> <p>3 天福地福 日本の昔話 『日本の昔話 2』福音館書店</p> <p>4 ブケッティーンと鬼 イタリアの昔話 『子どもに語るイタリアの昔話』こぐま社</p> <p>5 ぶしやう者の横綱 日本の昔話 『子どもに聞かせる日本の民話』実業之日本社</p>	<p>6 まめじかカンチルが穴に落ちる話 インドネシアの昔話 『おはなしのろうそく 8』東京子ども図書館</p> <p>7 あわれな悪魔 スウェーデンの昔話 『子どもに聞かせる世界の民話』実業之日本社</p> <p>8 畑の小判 日本の昔話 『子どもたちに聞かせたい 鹿児島島のむかし話』鹿児島県児童会</p> <p>9 ロバの耳はなぜ長い イタリアの昔話 『ネコのしっぽ』ほるぷ出版</p> <p>10 スワファムの行商人 イギリスの昔話 『イギリスとアイスランドの昔話』福音館書店</p>
--	--

話りの会 あもり 2012.10.13(土)

自己評価

- 事業効果**
期待した効果が上がった。
- 改善すべき課題**
講師、受講者共に、スケジュールが詰まっていて、時間配分に工夫が必要だった。
- 予算執行**
ほぼ、予定どおり執行できた。
- 今後の展望**
話りの会あもりとして初めての講演会だったが、子どもへ本を手渡す大切さを多数の方に気付いてもらえた。学習会は講師の講評を頂き、子ども達におはなしを語る手助けとなった。これからおはなしをもっと広めていきたい。
- その他**
講演会直前に資料のコピーをしなくてはならなかったため、もう少し連絡を密に取った方が良かったと思う。

団体情報

〈団体名〉話りの会 あもり
 〈代表者〉竹 京子
 〈設立日〉平成 19 年 5 月 1 日
 〈会員数〉19 人
 〈主な活動内容〉
 定例学習会 毎月 1 回
 隼人図書館 話りの部屋担当 毎月 1 回
 おはなし王国参加
 学童保育ほのぼの 毎月 1 回 おはなし会開催
 学校依頼によるおはなし会開催 (安良小学校・中津川小学校・竹子小学校)

〈連絡先〉
 所在地
 〒899-5117
 霧島市隼人町見次 23-5
 TEL 0995-43-6449 (FAX 兼用)

お互いに楽しく支え合うまちづくりに関する事業

<特定非営利活動法人 霧島シニアネット絆>

事業費：925,404円

市補助金：450,000円

目的（背景・課題）

隼人族の霊を慰めるため放生会をすべしと云う宇佐神宮の託宣で全国にこの事業を「隼人シニアネットきずな」の会員が中心になって、地域の伝統行事である「浜下り」に参画することで会員のもつ様々な能力を活用して浜之市特産品や魚市などの販売を通して地域の活性化を図ると共に魚獲り踊りなどの伝統文化を青少年に継承して行く事業を行うものである。

事業内容

①伝統文化保存、育成、参加の魚とり踊り実施

魚とり踊りは、浜之市に昔より伝統として引き継がれている、このよき伝統を育成・保存するため、子ども達や、青年部の方々に見てもらい引き継いでもらうことが最大の目的である。日頃の練習の成果もあり、ユーモラスな踊りに笑いや大きな拍手喝采であった。

②マスゲームの参加、育成

「風はここから」の曲で、地域の老人会や婦人部の40名あまりの方々が参加され、5色の長い布を踊り子たちが交互に編みほしていく妙技に観客の方々は感動し、町内の婦人部の方々の交流の場面ともなり観客ともども絆が深まり歓迎された。

③特産品、弁当販売

特産品として今回は特別仕出しとして販売したが、かなりの評価を得られた、また、昼食用にちらしの弁当を販売したところ、美味しい味に仕上がった為、かなりの評判であった。数として少し足りないぐらいであった。

④浜下り行列参加

今回は我々の1人が騎馬に乗ることになり、大いに盛り上がった。年々参列する数が増え400名

あまりの参加者があったとのこと。平成25年度は1300年祭にあたり、かなりの参列者が見込まれるとのことであった。また、今年も兜、鎧姿の子ども達の参加が多く見られ、親子の絆や今後の少年の健全育成と地域活性化を図ることとなる。

⑤青少年の相撲大会

今回、伽藍神社の総代や地域の方々の協力で、実施することが出来た。子ども達40名あまりが力相撲や大人たちとのゲーム遊びなどをして楽しんでくれた。このような世代間交流の場がいたるところで実施できれば支え合う町づくりができると確信した。このような相撲大会が広いところでやれることが今後の課題である。

⑥高齢者の生きがい対策

普段外出なさらない、高齢者が集う機会、場所ができたこと、また、浜下りの神事や多彩な演芸、出店を見ながら一日中笑いありで楽しく過ごされたこと、また、お互いに色々な話や相談事の場となり生きがいづくりに繋がったと思われる。

⑦花壇づくりなど沿道整備

真孝公園・港湾道路沿い・八幡屋敷等に菊や草花を植栽実施。育成期は、除草や肥料の追肥・薬剤散布など暑い季節での管理は大変であったが、開花時期は環境の美化と沿道を通行する車輛の人々やジョギングをする人たちの憩いの道路として、住民から親しまれ喜ばれた。港湾沿道沿いにおいてはかなりの距離があるため今年度に花壇の延長の計画を立てたい。今年は気候の変更が厳しくあらゆるところで草花に影響を与えたようである。

事業の成果

今回も納屋自治会に実行委員会を設け、富隈地区長寿会、錦江漁港、伽藍神社、熊野神社、富隈地区公民館など多くの方々が参加くださり、ますます一体感がある事業となりつつある。また、地域住民の方々も伝統行事の継承の大事さが理解され、地域の絆を深め地域活性化のため一丸となって取り組めばどんなことでもできる確信を得た。

浜下りの様子



自己評価

1. 事業効果

期待していた以上の効果が上がった。

2. 改善すべき課題

昨年同様、運動会など幼児の諸行事が重なるため子ども達の伝統行事継承の危惧が案じられる。また世代間交流の場として広い場所などが欲しい。例として八幡屋敷近くの空地の借用などできないものか？

3. 予算執行

多少の変更があった。

二年度目で実施されたので、ほぼ計画に沿って実施が行われた。活動作業において昼食を出さざる得ないことが生じ、予想外の出費が生じた。今期も財源計画は、年度末まで1年間の中で見込んでいるが、一方で支出は年度途中でほぼ確定することとなり財源の確保及び資金運用に苦慮し、資金繰りの為支払延期と一時借入金で運用しなければならず収入確保に大変困った。

4. 今後の展望

平成25年度は浜下り1300年祭が開催される事により、伝統行事の継承をしっかりと整え、また、小島を含めた浜の市周辺や富隈地区の周辺をさらに見直し住みよい町づくりに貢献できるようにしたい。そのため地域住民、長寿会、各自治会、色々な組織団体と連絡やコミュニケーションを密にすることへ努力する。

5. その他

年を重ねるごとに隼人シニアネットきずなの評価が上がり協力体制が広が

りつつある。また地域住民全体で、この伝統ある隼人浜下り継承の重要性が高まり、取り組みが出来た。日頃、生涯学習で学んだ演芸や伝統芸能などを発表する機会も得られ、そのことが学習成果の喜びと生きがいにつながった。伝統芸能を継承するためにもこのような機会を多くする必要性を感じた。観客も年々増え地域の人々が集い、絆が一層深まる浜下り会場であったと感じ取れた。

地域パトロールの様子



沿道沿い植栽準備作業



団体情報

〈団体名〉 特定非営利活動法人
霧島シニアネット絆
〈代表者〉 津之地 良
〈設立日〉 平成 23 年 4 月 4 日
〈会員数〉 36 人
〈主な活動内容〉

お互いに支え合うまちづくりに関する事業（浜下り・公園等の花植え）のほか、小浜の小牧地区に棚田の再生と景観づくりその他高齢者の日常支援・生きがい健康づくり・絆を活かした災害防止・救援事業、等 6 事業を計画実施する。

（実績）

港湾道路のドーム菊作り・子どもの安心安全防犯パトロール 5 年継続中

〈連絡先〉

所在地

〒899-5101

霧島市隼人町住吉 1879 番地 1

TEL 0995-43-1576 (FAX 兼用)

福山まるごと博物館

<エコミュージアム福山>

事業費：383,454円

市補助金：187,000円

目的（背景・課題）

昨年度は、旧田中家別邸でのゴッタン・コンサート、「福ふく酔っ霧ツアー」で福山探索（海岸線沿い地区）、福山文化祭での地域情報収集活動と「福山まるごと博物館マップ」作成、比曾木野地区散策、福山・渚コンサートを実施した。これらの活動の中で、福山の地域資源の豊かさを学び発信することができるのと同時に、地域内外のネットワークが広がってきた。今年度は、これらの活動を引き継ぎながら、さらなる拡充に取り組む。具体的には、福山各地区公民館、比曾木野地区住民、福山漁業組合、福山幼稚園・小中学校および地域外の団体などとの連携を図りながら、福山の地域の魅力を発掘・学習・発信するための活動を展開し、住民の地域アイデンティティ形成やまちづくり力を高めつつ、地域の活性化を目指す。

事業内容

福山まるごと博物館の実現に向けての2年目である。1年目に引き続き、福山の魅力を再発見し、かつ、地域おこしができるための各種行事に取り組む。

1 荒武タミ女の標柱と説明板の設置及び比曾木野公民館においてコンサート（平成24年8月5日・約80名参加）

荒武タミ女の生い立ちと業績を明記し、地域の誇りとして後世に伝え残すコンサートであった。ゴッタンのプロ奏者や財部のゴッタン奏者グループ、荒武タミ女の紙芝居、和太鼓の演奏があった。比曾木野出身の人々も多く参加されて、地域住民との交流が図られた。

2 みかん狩り（平成24年12月3日・13名参加）
福山小みかんの歴史・現況・利用方法等の資料

を準備した。しかし、あいにくの大雨で参加者が少なかった。みかん狩りを子どもたちに体験させる活動が特殊認定校の条件に活用できないか、地域づくりに繋げないかを検討した。

3 福山酔サミットの準備（平成25年1月31日～2月5日）

福山黒酔の会社8社を訪問した。協力的な姿勢であった。黒酔の壺畑の景観も地域づくりに役立つことが分かった。

4 福ふくコンサート（平成25年3月23日・約200名参加）

旧田中家別邸の活用と福山幼稚園園児のお遊戯と歌、福山小学校児童、地元の人々の歌と演奏など、地元こだわりの演奏会ができた。

5 福山散策マップの活用（平成25年3月27日）
散策マップの検証と現地検証をした。

事業の成果

2回のコンサートは、地元の資源（人・産業・景観）のすごさを、福山の人が再認識するとともに、参加者にアピールできる機会であった。また、福ふくコンサートでは、漁協やオーシャンビューガーデンクラブ、地元出演者との連携を図ることができ、今後の集客や魅力のアピールに展望が見えてきた。



自己評価

1. 事業効果

期待した効果が上がった。

2. 改善すべき課題

地元民への働きかけが足りなかった。当方の考え方で動いていた部分が大きかったが、実際は地域の協力は得られる状態であったので、来年度は積極的に働きかける。

3. 予算執行

ほぼ予定どおり執行できた。

資料（マップ）づくりや、イベントの手法が大体できた結果、今年度は人の動きが活発な活動になったため交通費や活動費が増額された。

4. 今後の展望

比曾木野コンサート、みかん狩り、黒酢サミット、春のコンサート等のイベントを継続する中で地域に根ざした活動への定着を進めていく。

5. その他

会長交代という事態もあったが、多くの方々の指導、支援があり、組織の存続がある。市長、教育長、支所長、係の方にお礼を言いたい。



団体情報

〈団体名〉エコミュージアム福山

〈代表者〉池江 勝子

〈設立日〉平成 22 年 5 月 31 日

〈会員数〉13 人

〈主な活動内容〉

- ・平成 22 年 7 月 25 日「エコミュージアム国際フォーラム in 霧島」（参加者約 80 名）
- ・平成 23 年 3 月 24 日「黒酢の里福山散策と福ふく漁師市」霧島よかとこ博覧会企画（参加者約 30 名）
- ・平成 23 年 7 月 23 日荒武タミ 20 回忌追悼・ゴッタン・コンサート（約 200 名参加）
- ・平成 23 年 10 月 28 日比曾木野探索（15 名参加）
- ・平成 24 年 1 月福山まるごと博物館マップ 2 万部作成
- ・平成 24 年 3 月 24 日福山渚コンサート

〈連絡先〉

所在地 〒899-4352

霧島市国分向花 14

TEL 0995-45-1757



旧田中家別邸を生かすふるさと再発見事業

事業費：425,500円

<オーシャンビューガーデンクラブ>

市補助金：266,000円

目的 (背景・課題)

県及び市指定有形文化財で郷土が誇る「旧田中家別邸」は、主、田中省三翁の建造物、庭園、旧福山中学歴史資料館、東野駄句楼句碑等、観る者を引きつける魅力ある素晴らしい施設であり、一般に無料開放されている。当事業は、この魅力ある施設を市内外に広くアピールし再発見して頂く事を目的とする。その一端として、現状の施設を生かしたイベントを企画、開催する。

事業内容

- 1 おきな草まつり H24. 4. 1～5. 5
横断幕を出す。庭に長椅子、野立傘を出す。案内配置スタッフ2名で述べ13日間、入場者数343名 写真展の開催をする。
- 2 歴史散歩 H24. 8. 11
集客36名、スタッフ12名
- 3 古布でつくる洋服の世界展 H24. 9. 1～10. 14
38日間集客数3,317名、スタッフ延べ54人
- 4 おきな草株数調査 H24. 10. 20
福山高校ひまわりクラブの協力を得て実施、高校生6名、教育長、教育委員会、南日本新聞取材、スタッフ8名
- 5 故里を語る会 H24. 11. 3
参加者14名 (県外からの帰省者3名)
- 6 寒ランのある風景展 H24. 11. 1～12. 15
26日間集客数834名、スタッフ延べ37名
- 7 海岸ウォーク H25. 2. 3
集客数27名、スタッフ4名



事業の成果

- 1 写真展の出品者は周知が不足し少なかったが、来場者からは、「おきな草を見たい」という声が多く次回への展望が広がった。
- 2 今後の街歩きのためのモニターツアーとして実施。霧島市内に居住する人でも、旧田中家別邸を「知らない」人が多く、大好評を得た。会費で収支赤字の出ない見込みもつき次回への展望は大きい。
- 3・6 来場者は、県内全域にわたっており、来場者の感想も上々で新聞、ラジオにもとりあげられ、旧田中家別邸のアピールは予想をはるかに超えた。以後、来場者数が増加している。
- 5 次回からは、東京、大阪の福山出身者の会へも呼び掛け将来的には大きい組織をつくりたい。



自己評価

1. 事業効果
期待していた以上の効果が上がった。
2. 改善すべき課題
催事の期間を短縮した方がいい。(出品者の希望)
3. 予算執行
ほぼ予定どおり執行できた。
4. 今後の展望
将来にわたり事業を継続する時、ボランティアの person 費の確保があれば展望は明るい。
5. その他
特になし。



第3種郵便物認可

旧田中家別邸で開かれている「古布で遊る洋服の世界展」

霧島市福山

大正の屋敷で古布作品展

福山

能く演進なレトロ

県有形文化財に指定されている霧島市福山の旧田中家別邸を活用した「古布で遊る洋服の世界展」が開かれている。大正時代の格調ある建物と古布を持つ賑やかな雰囲気相まって、来場者を魅了している。10月14日まで。

活性化へ住民ら企画

同別邸を核にして鹿児、リア等の装飾がある洋島酒造に開けた福山、間と、伝統的な和室を兼ね備えた和洋折衷の造りとなつて、1957年に福山中学校を卒業した同郷生を中心になつて、結成された「オーシャンビューガーデンクラブ」が企画した。

同別邸は、庭園を含め敷地約4276平方メートル。私立福山中学校を創立した田中省三氏が1922年に建てた。職人を大阪から招くなど、高い技術で、シャネル

望み、池も備える庭園は市文化財にも指定されている。会場には同市内の主婦らが、和服に使用されているリネークした作品約50点が並び、お茶のサービスもある。出品した同市単人の大迫和子さん(80)は「新しい命が吹き込まれた古布と趣深い別邸の雰囲気がつたり」と満足そう。同クラブ代表の恒吉明美さん(70)は「別邸ではまだ時間が止まったように、ゆっくりとできる。ぜひ足を運んでほしい」と話した。

入場無料。午前8時半から午後5時(水曜休館)。同クラブ・小松敏夫さん1090(8222)98050。(重吉亮佑)

県と市の文化財に指定されている旧田中家別邸と庭園

団体情報

〈団体名〉 オーシャンビューガーデンクラブ

〈代表者〉 恒吉 明美

〈設立日〉 平成23年6月1日

〈会員数〉 12人

〈主な活動内容〉

平成23年5月 クラブ結成

平成23年 句碑(東野駄句楼「冬うらら・・・」に関する資料の整理実施)

平成23年11月 ふるさとの思い出の会実施(参加者43名)

平成23年12月 おきな草の植栽、手入れ実施

〈連絡先〉

所在地 〒899-4501

霧島市福山町福山 3136

TEL 0995-55-2618 (FAX 兼用)

E-mail akemi17@po3.synapse.ne.jp

自主ミュージカル公演事業

<きりしま創造舞台>

事業費：3,249,623円

市補助金：450,000円

目的（背景・課題）

私たち「きりしま創造舞台」は、平成17年3月に「地域の人とともに汗を流し、新たな文化を創造すること」を目的に設立、プロのミュージカル劇団や音楽家を招聘し、市民の皆様に鑑賞していただく活動を続けている市民劇団です。

平成22年、霧島市が市制5周年を迎えたことを記念して市民参加型オリジナルミュージカル「ひかるの夏2010～龍馬からの伝言～」を8月に公演いたしました。また、市からの要望を受け、11月7日、市制5周年記念式典のオープニングで30分に短縮したダイジェスト版を披露いたしました。その後も公演を希望する市民の声に後押しされ、昨年11月に再演し、また、本年8月にも再演する運びとなりました。

本作品は、私たちの故郷霧島市の自然、文化、歴史や史跡を取り入れ「絆」と「明日への希望」をテーマにした作品です。また、このミュージカルの脚本、演出、演技指導を担当するのは、福岡に拠点があるプロのミュージカル劇団「ドリームカンパニー」の徳満亮一代表で霧島市出身の方です。

東日本大震災における甚大な被害があり暗いニュースが多い現在ですが、このようなときに絆と明日への希望を与えるミュージカルで霧島から元気を発信したいと考えます。

事業内容

①稽古

平成24年4月16日から稽古開始

公演日含め全37回

②お披露目会

平成24年6月22日

国分シビックセンター多目的ホール

③合宿

平成24年7月7・8日開催 1泊2日

いきいき国分交流センター 稽古と挿入歌収録

④霧島国分夏祭り参加

平成24年7月14日

国分シビックセンター 本公演のPR

⑤本番公演

平成24年8月12日 昼夜2回公演



事業の成果

昼夜合わせて約900名のお客様にご観覧いただき、小中高生をはじめとする役者達が、一生懸命演じる姿に感動していただけた。

普段触れる機会の少ないミュージカルという芸術を身近に感じていただくきっかけになり、文化の薫り高い霧島市の発展に寄与することができた。

当ミュージカルは、霧島市の自然・文化・歴史にもとづく内容であり、霧島市の魅力を再発見していただく機会になり、郷土愛を育む契機になった。

役者として参加した子ども達は稽古や本公演を行う中で、様々なことを学び、成長してくれた。青少年育成の目的も達せられた。

役者として参加した大人の皆さんにも生涯学習の場を提供できた。

今回の活動を通して、地域の人と人とのネットワークを築き上げられ、それは今後の地域を盛り

上げていく人的財産となっていくと確信する。

自己評価

1. 事業効果

期待していた以上の効果が上がった。

2. 改善すべき課題

チケットの販売戦略がなかった。
 スタッフ不足のため、一人ひとりのスタッフの負担が大きかった。
 改善策：当初からしっかりと販売戦略を立て、スタッフを確保すること。

3. 予算執行

多少の変更があった。
 ポスターやパンフレット作成費用の予算を過少に見積もってしまっていた。経費削減に努め、消耗品や旅費を低額に抑えることができた。

4. 今後の展望

来年度は大隅国建国 1300 年記念イベントとして新作ミュージカル公演を行いたい。

5. その他

役者として参加した小中高生一人ひとりが、稽古及び本公演を通して、大きく成長してくれたことが実感できたこと。学校を離れた場所での、「学びの場」となれたと思う。



団体情報

〈団体名〉 特定非営利活動法人

きりしま創造舞台

〈代表者〉 木下 明子

〈設立日〉 平成 17 年 3 月 18 日

〈会員数〉 77 人

〈主な活動内容〉

- ・平成 23 年自主制作ミュージカル「ひかるの夏～龍馬からの伝言～」アンコール公演
- ・平成 22 年自主制作ミュージカル「ひかるの夏～龍馬からの伝言～」公演
- ・平成 21 年自主制作ミュージカル「ひかるの夏 2010 への道」公演
- ・平成 20 年劇団ドリームカンパニー「ハロー、天使です！」出演
- ・平成 19 年 KKB ふるさと CM 大賞制作「優秀賞」受賞

〈連絡先〉

所在地 〒899-4321

霧島市国分広瀬三丁目 20-19-202 号

ゆめみ館

TEL 090-7469-2547

FAX 0995-43-2400

E-mail kirishima_c_s@yahoo.co.jp

霧島市市民活動支援事業

市民ミュージカル

ひかるの夏

—龍馬からの伝言—
2012公演

時代を旅する 感動の
一大スベクタクルミュージカル!

高千穂峰の天孫降臨の瞬間
薩長時代の国行の野原
第三次世界大戦中の
薩垣の特殊基地

新婚旅行中の坂本龍馬
妻とお龍を時間旅行に参加!
霧島市の歴史の歴史的瞬間にタイムトラベル!

絵 長谷 まさる

平成24年8月12日(日)

昼の部 ■開場 13:00 ■開演 13:30
夜の部 ■開場 17:30 ■開演 18:00

霧島市華人農村環境改善センター

主催/きりしま創造舞台 共催/霧島市教育委員会

サポート会/藤田建設㈱ 南九州タナチ 空想自動車学校 国分電機㈱ 末重建設㈱ 曾山建設㈱ タナシタ調剤薬局㈱
高千穂クワトロ大九郎 サンニチ サンニチホーム マイクロソフト㈱ 南日本新聞国分中央・国分北販売所
遊覧船遊覧屋 (五十名程)

後援/霧島市 霧島商工 霧島市社会福祉協議会 霧島市PTA連絡協議会 霧島市子ども育成連絡協議会 霧島市自治体公民館連絡協議会 霧島市文化協会
霧島市青年連合会 霧島市老人クラブ連合会 霧島市国際交流協会 霧島市国際交流協会 公益財団法人鹿児島県文化振興財団 鹿児島県文化協会
鹿児島県教育支援協議会 志摩塾大学 鹿児島女子大学 鹿児島女子短期大学 鹿児島女子短期大学 鹿児島女子短期大学 鹿児島女子短期大学 鹿児島女子短期大学
国分市人権協会/霧文インフォメーション/きりしま/国分子ども劇場 南九州ケーブルテレビ/キリシマ 南日本新聞社 毎日新聞社 毎日新聞社 読売新聞社
国分新聞社 国分市観光協会 国分市観光協会 国分市観光協会 国分市観光協会 国分市観光協会 国分市観光協会 国分市観光協会 国分市観光協会

きりしま創造舞台公式ホームページ <http://ksouzoubutai.web.fc2.com/> きりしま創造舞台 (検索)

日当山近辺の整備計画による日当山温泉の活性化事業

<日当山会>

事業費：306,133円

市補助金：94,000円

目的（背景・課題）

鹿児島を訪れる観光客が増えてきているが、日当山温泉への来客がまだ顕著に見えない状況にあり、これから日当山のすばらしい特色を知って貰うため、様々な施策を実行していく。その中には、空港、高速道路、JRからの来客を考慮し、「街歩きマップ」をより魅力のあるものに改訂し、すばらしい日当山を知って頂くよう努力する。

また、特に日当山駅の美化整備などの活動を実施すると共に日当山温泉街が活性化するような事業を行う。

事業内容

- 4月 平成23年度総会、その後花見を実施
- 5月 日当山駅広場の花壇整備・マリーゴールドの花を植付け
- 7月 「日当山まち歩き地図」の増刷
JR鹿児島支社、近隣のJR駅、銀行、鹿児島空港案内所協賛店等配布
- 8月 日当山夏祭りで、道路両面にペットボトルを利用し誘導灯火を250個制作設置する。
- 10月 日当山駅広場構内草払い、花壇整備
- 11月 日当山駅ホームにきりしまつつじ15本を植える。
姫城中央公園に水仙を1,200個植える。
「日当山まち歩き地図」の増刷。要求された施設に配布
- 12月 肥薩線はなの会の会合を主催
南さつま市加世田NPOエコ・リンク・アシエーション（大阪）へ先進地研修の実施
日当山駅広場構内水仙を300個植える。
霧島市緑の基本計画（案）についてのご意見書を提出
- 3月 道路サポーターゴミ拾い清掃作業

4月～3月 毎月最終火曜日に定例会を開催

事業の成果

「日当山まち歩き地図」作成による効果

- 1 日当山に多くの温泉が存在することの認識が広く知れ渡った。
- 2 地図の配布にあたり行政はもとよりJRや空港等の組織団体の協力体制ができた。

「日当山駅周辺の整備の要望書」に対する効果

- 1 行政に整備等の要望書を提出することで行政の取組みを期待すると同時に地元で真剣に取り組む姿勢が出て来た。

「日当山駅周辺の花植」による効果

- 1 駅周辺の整備と花植を行うことで利用者の態度に変化が出て来たように見受けられる。
(綺麗になったね!という声を良く聞く)





自己評価

1. 事業効果
期待した効果が上がった。
2. 改善すべき課題
急な組織の立上げで周りの認識も薄く会員も少なかったが、活動を重ねる度に認識も高まり、周辺の賛同者（団体含む）が現われ、今後は会員（特に女性）の増加を行って活性化を地道に活動したい。
3. 予算執行
多少の変更があった。
事業を行うのも初めての事が多く、予算作成時と事業実施時には多少の差異が生じた。
4. 今後の展望
3年間活動してきて感じたことは、日当山周辺の知名度（強み）が低いことである。温泉や史跡、景観、アクセス等、観光資源が豊富に在るのに？活性化のためには、先ずは温泉（家族湯）の有効活用だと思われる。一層の広報活動が重要なので、周辺団体と協力し、3年間の経験を基に活動して行きたいと思う。また、日当山駅周辺の整備を行政の力を借りながら、地域の豊富な観光資源の活用により、観光客の集まる街になることを目指す。
5. その他
この事業を経験し、周辺には地域の活性化に真剣に考えている人や団体が多く存在されていることを知ったが、自分たちだけでは困難な案件が多く、行政や企業家次第と感じた。
今後は、出来る範囲で少しでも希望のある街になるよう活動して行きたいと思う。



団体情報

〈団体名〉 日当山会
 〈代表者〉 濱田 勝弘
 〈設立日〉 平成22年5月7日
 〈会員数〉 19人
 〈主な活動内容〉
 「日当山まち歩き地図」の改訂版を作成し印刷、それを市・県の観光課、及び地域の観光施設（銀行郵便局含む）に配布。
 日当山駅に花壇を整備し、花植を年2回実施。道路サポーターとして223号線道路の清掃作業を実施。

〈連絡先〉
 所在地
 〒899-5115
 霧島市隼人町東郷1-134
 TEL 0995-42-3681 (FAX 兼用)

日当山夏祭り

<日当山夏祭り実行委員会>

事業費：2,606,772円

市補助金：450,000円

目的（背景・課題）

従来の日当山夏祭りは花火を中心として開催されていた。それが、新市誕生の折、引き継ぐ者がなくやむを得ず中止となった。何としても再度夏祭りを立ち上げ地域の活性化並びに子どもから大人までの夢希望を育む。小規模でも花火を打ち上げ、日当山温泉に観光客を呼び込みたい。

事業内容

昨年までの、地元の皆さんによるステージイベント中心の祭りに加え、4年途絶えた日当山花火を復活させることと「あゆ祭り」との併催により天降川、あゆ、温泉等の地域の財産をアピールする祭りを旨として「あゆフェスタ」第二部「日当山夏祭り」を開催した。

○日当山夏祭りの実施

日時：平成24年8月4日（土）

午後3時～午後9時

場所：日当山温泉公園

対象者：地域住民・一般市民

参加者数5,000名推定

スタッフ数90名

内容：園児・小学生・中学生アマチュアバンド・地域住民・各種団体によるステージイベントや地元特産品抽選会、スケボー体験と花火大会

事業の成果

夏祭りを開催することで出演者の子ども達、グループ、団体の発表の場ができ、観客の皆さんとの楽しい交流の場がうまれた。

また、天降川の川面に映る花火を多くの方々には川辺や温泉宿から眺めていただくことで日当山温泉や天降川のすばらしさを再認識していただけたと思う。



自己評価

1. 事業効果
期待した効果が上がった。
2. 改善すべき課題
なかった。
3. 予算執行
ほぼ予定どおり執行できた。
4. 今後の展望
今回、併催した「あゆ祭り」との連携を深め、地域自慢の出来る日当山ならではの祭りを続けることで、地域力を少しずつ高めながら元気いっぱいのふるさと興しをめざしたい。
5. その他
資金的に自立するためには更なる知恵とパワーと時間が必要である。



団体情報

- 〈団体名〉 日当山夏祭り実行委員会
〈代表者〉 米徳 満
〈設立日〉 平成 21 年 4 月 1 日
〈会員数〉 10 人
〈主な活動内容〉
平成 21 年～23 年 日当山夏祭り実施

〈連絡先〉

所在地
〒899-5115
霧島市隼人町東郷 1-27
TEL 0995-43-1789
FAX 0995-43-0412

きりしま子ども囲碁教室

＜霧島市子ども囲碁教室実行委員会＞

事業費：316,076円

市補助金：210,000円

目的（背景・課題）

霧島市観光の目玉でもある初午祭の馬頭観音は基盤を削って造られたという由来、また、知的・戦略的思考を育てるとして愛好されてきた伝統文化としての囲碁、それらは、市民として強く認識されてもよい事項である。さらに、近年の囲碁愛好者の増加やたくましい青少年の健全育成が叫ばれている中、中国・韓国に比べて囲碁に触れる機会の少ない児童に、切磋琢磨しながら知的思考など育てていく機会を多く与えてやりたい。これらのことを念頭にして、子ども達に囲碁の基本的な見方・考え方を理解させ、棋力の向上と囲碁ファンの増強を図っていく所存である。

事業内容

この一年間、毎週土曜日午前10時から11時30分まで、計39時間の囲碁教室だった。22名の園児・児童が、平均12名の出席率で、楽しく囲碁の基礎・基本を学び合った。計7名の指導者と講師が、毎回3人ずつで子ども達の指導・助言に当たり、途中、テレビ囲碁教室を観戦したり、数名の親が観戦したりして、充実した囲碁教室ではなかったかと思う。

11月に実施した子ども囲碁大会では、大人の囲碁大会に混じって、12名の子ども達が熱戦を繰り広げ、南日本新聞やMCTテレビでも報道された。生まれて初めて囲碁を覚え、生まれて初めて囲碁大会に臨んだ子ども達の目は、緊張と歓喜に満々だった。

霧島市の後援も受けての本教室は、子ども達の能力を最大限に伸ばし得る指導上の創意・工夫については、まだまだ課題は山積しているが、初めてにしては上出来ではなかったかと自負している。

事業の成果

囲碁に関する基礎的、基本的な知識・技能をほとんど身に付けていなかった園児・児童が、基盤を囲んで本格的にゲームが出来るようになってきた。力量の個人差はあるにしても、囲碁への興味・関心は高まり、今後の継続的な練習次第では、棋力の向上はもちろんのこと、社会性、自立心などの人間性も一段と高揚していくものと考えられる。

本教室へ通うに当たり、自ら進んで出席していた者は92%、仲間と仲良く囲碁を楽しもうとしていた者は100%、教室でのことを親に話したり報告したりしていた者も100%、さらに、囲碁に興味・関心を持って棋力を伸ばそうとしていた者は100%などと、子どもなりに、囲碁教室へ参加したことの良さを感じとっている。

今後、指導者の献身的なボランティアと子ども達のひたすらな努力が実るならば、気力向上や全国大会への出場等も大いに期待できる。



自己評価

1. 事業効果
期待した効果が上がった。
2. 改善すべき課題
 - ・指導上の創意・工夫
 - ・あいさつや聞く態度の育成（異年齢集団での）
 - ・家庭で復習したり、土曜以外でも学習できる機会の設定
3. 予算執行
ほぼ予定どおり執行できた。
4. 今後の展望
囲碁への興味・関心の高揚と棋力の向上及び県・全国大会への出場
5. その他
指導者や講師の良き連係プレイにより、子ども達の囲碁に対する基本的な事項の定着が図られ、棋力の向上に貢献できた。



団体情報

〈団体名〉霧島市子ども囲碁教室
実行委員会

〈代表者〉清藤 栄

〈設立日〉平成23年9月20日

〈会員数〉7人

〈主な活動内容〉

平成23年11月20日霧島市市民囲碁大会開催（68名参加、内、小学生1人）その前10月29日（土）より11月9日（土）まで毎週計4回子ども囲碁教室（参加者33名）を開催し、同20日は子ども囲碁大会を開催する。

〈連絡先〉

所在地 〒899-4346

霧島市国分府中町17-36

TEL 0995-47-4321

日当山秋の収穫祭

事業費：1,355,000円

＜霧島隼人 秋の収穫祭実行委員会＞ 市補助金：500,000円

目的（背景・課題）

東日本大震災の原発事故により、食の安心安全が見直されている。また、観光でも地産地消が食育と共に、顔の見える収穫物の消費が重視されつつある。特産品の開発、食事メニュー、地域食などの伝承などが、地域の活性化に必要なものであり、また、体験型観光や滞在型観光をになう観点でも、グリーンツーリズムの足がかりとなるためにも、この資源を育てていく意義がある。

事業内容

地域の子ども達による体験学習

- 5月24日 芋植え体験（日当山小30名）
- 6月18日 田植え体験（日当山小25名）
- 7月26日 お茶摘み体験（富隈小20名・宮内小30名）
- 8月9日 お茶を使った菓子作り体験（富隈小15名）
- 8月24日 かかし作り
- 9月3日 そば種まき
- 9月26日 芋掘り体験
- 10月1日 稲刈り体験
- 11月3日 秋の収穫祭（イベント）
- 11月6日 そば刈り
- 2月11日 そば打ち体験



事業の成果

地域の子ども達を中心に、地域で採れる農作物を自分たちの手で育て、その収穫物から焼芋や餅を作ったり、収穫祭のイベントでたくさんの人に披露することで、食育や地域の良さを見つめ直す素晴らしい機会を子ども達に与えられたと思う。



自己評価

1. 事業効果
期待していた以上の効果が上がった。
2. 改善すべき課題
体験学習のそばの収穫が祭りに間に合わなかったため、11月の後半に次回は実施したい。
3. 予算執行
ほぼ予定どおり執行できた。
4. 今後の展望
子ども達の喜ぶ顔が素晴らしくて人数を増やしていきたい。また、農協さんとも協力していきたい。
5. その他
特になし。



霧島隼人 11月3日(土曜日)10時-15時 日当山温泉公園

秋の大収穫祭

日当山の大自然に囲まれた豊かな恵み
隼人、日当山、天狗川の下流に広がる豊かな大地は、次
山の恵みがある自然豊かな地域です。地域の子ども達
自然の恵みを感じ、自分で作った作物を喜
びます。様々な特産品の展示や販売も、シルバー
センターの方々のふるまいも、また、稲刈り体験も
参加して写真会など盛りだくさん。スウェーデンコー
ーの弊会もお祝いしてあげます。

秋の収穫を楽しくしよう!!

稲刈り体験
隼人剣士と
餅つき体験!!

僕たちが作った
野菜を食べに来てね!!

隼人剣士
隼人

地域の特産品の集まる
特産品市を開催!!

霧島・隼人秋の大収穫祭
【日時】11月3日(土曜日)10時-15時
【場所】日当山温泉公園(鹿児島県霧島市隼人町東郷)
【イベント内容】→入場無料→
稲刈り体験・餅つき体験・隼人剣士と記念撮影・特産品市
ふるまいコーナー・スウェーデンコー
ー【お問い合わせ】
電話連絡 霧島市隼人町東郷 9-124 TEL:0995-42-0607
HP: <http://inatayama.net/aki/>

【主催】霧島市観光振興実行委員会 【共催】霧島市シルバーセンター 【後援】霧島市教育委員会、(社)霧島市観光協会、霧島市観光工芸、日当山温泉旅館組合

団体情報

〈団体名〉霧島隼人 秋の収穫祭

〈代表者〉米田 知弘

〈設立日〉平成24年1月17日

〈会員数〉10人

〈主な活動内容〉

この実行委員会を立ち上げたばかりなので、実績はないが、メンバーは日当山温泉旅館組合、鮎祭り実行委員会、日当山夏祭り実行委員会などを兼務しており、温泉マップ作成や日当山温泉ガイドブック作成、認知症サポーター養成講座など。

〈連絡先〉

所在地

〒899-5111

霧島市隼人町姫城3丁目124

TEL 0995-42-0607

FAX 0995-43-5266

E-mail kiyohime@po.mct.ne.jp

地域活性化観光の振興を図る事業

事業費： 508,000円

<隼人宮内会>

市補助金： 300,000円

目的（背景・課題）

鹿児島神宮を中心にした地域であり、地図を作り地元の方・観光客に訪れてもらい、歴史については教育委員会文化財係の指導をもらう。

事業内容

鹿児島神宮を中心にした地域であり、マップ・冊子を教育委員会文化財係の指導をもらい作成し地域の歴史・伝統・文化などについて勉強会をし広報した。

- ①マップの作成
- ②『鹿児島神宮と隼人宮内にまつわる物語』冊子の発行
- ③勉強会の実施（地域の人達と神宮の宮司の話聞く会を開催した。）
- ④春の市の開催

事業の成果

「あー、そうなんだ。こんなところが、こんな歴史が」ということで、地域の活性化と観光のPR活動になった。

自己評価

1. 事業効果
期待した効果が上がった。
2. 改善すべき課題
地域の歴史について少しでも多くの人に知ってもらおう。
3. 予算執行
多少の変更があった。
当初、案内看板を立てる計画をしていたが、用地の交渉がなかなかうまくいかず変更した。

4. 今後の展望

- ①広い視点での取り組みを考える。
- ②地域のすばらしさを観光に繋げる。
- ③地域コミュニティの活性化
- ④その他

5. その他

自分たちが、まず、地域の事を知り『地域と共に』という考え方で、時代に伝えていける様な事業が出来た。



団体情報

〈団体名〉 隼人宮内会
〈代表者〉 曾山 純廣
〈設立日〉 平成 23 年 5 月 7 日
〈会員数〉 11 人
〈主な活動内容〉
マップ作り
初午祭の春の市

〈連絡先〉
所在地
〒899-5121
霧島市隼人町神宮三丁目 1-26
TEL 090-3739-8240
FAX 0995-42-3339

高齢過疎地域におけるIT活用のいきいきネットワーク作り事業

事業費：590,759円

市補助金：285,000円

<ニコニコ会>

目的（背景・課題）

生きがいは、病院に通い物理的延命策を図るだけでは解消できない。寝たきりの独居老人や要介護認定を受けている人たちは、生涯学習等の公民館活動に参加できない状況にある。更に、鹿児島県では郷里に就職先が少ないために帰郷せず、空き家や独居老人、認知症予備群や要介護者を抱える家族が多くなっている。

本事業は、遠く離れた人と人を、インターネットを活用したネットワークで結ぶことを目的とする。都会と田舎、遠く離れた家族等が簡単に結ばれれば、生きがいが生じ地域の活性化につながる。ネットワーク形成の過程では、自治体関係者と地域住民、高齢者と若い人々など、霧島市に住む人々の間で交流の機会を増やしていく。その結果、高齢者にとって地域社会の情報取得が容易となり、地域社会への参画が期待できる。

事業内容

高齢過疎化の進む霧島市全域で、隼人姫城地区公民館地区を拠点に、自治会・老人クラブ、保健福祉、安全安心、教育委員会等と協働のネットワークを通じた地方の活性化を推進する。住民主体のインターネットを活用した多くの市民活動団体のライブ映像による情報発信、SNSなど、地域を元気にするための支援活動を実施する。

本年度は次の内容で実施した。

- ①地区公民館における高齢者等への来館サポート：随時
- ②高齢者等宅における訪問サポート：随時
- ③高齢者サポートのためのインターネット及びパソコン講座の開催
- ④霧島市における高齢過疎問題を解決するための意見交換会開催
- ⑤市民活動の先進事業として福岡と東京でNPO

活動の調査・研修

⑥自己研鑽のための勉強会・打合せ会議・研修会参加など。

具体的には、①高齢過疎地の安心を強める技術と意見交換会開催（H24.5.27、いきいき国分交流センター）、②中高年者のためのインターネット入門講座（H24.6.7～8）、③中高年者のためのパソコン入門講座（H24.6.23・30、7.7、隼人姫城地区公民館）、④高齢者とのふれあい交流（H25.2.24、西牧之原地区公民館）、⑤自己研鑽のための勉強会（H24.7.22、9.23、11.18、H25.1.27、3.17）、⑥市民活動の先進事業調査と研修（H24.10.6～7、福岡大学、及びH25.1.18～19、小伝馬町ビジネスセンター：東京）、⑦第10回姫城地区文化祭に参加協力（H25.3.23～24）、⑧市民活動団体として制作したニコニコ会のホームページを通じたライブ映像（YouTube）による情報発信、SNS（mixiによる交流）など、地域を元気にするための支援活動、⑨打合せ会議等を実施した。

インターネットで安心をつなげよう

～高齢過疎地の安心を強める技術と意見交換会～

主催：ニコニコ会 後援：霧島市

過疎地のお年よりやその家族は、いざというときを心配していると思います。急に具合が悪くなったときどうするか。これが一番の心配事でしょう。先進地はどのような対策をとり始めているのか。今後どんな技術が役立つそうか。霧島市市民活動支援事業として、過疎の現状とインターネット技術を紹介、意見交換会を開催します。

■日時 5月27日（日）午後2時～4時

■場所 国分総合福祉センター、2階

■内容

①高齢化社会と地域ネットワーク

講師：内田一平（鹿児島工業高等専門学校 准教授）

②インターネット技術の紹介

テレビ会議（Skype）、実況放送（Ustream）など

③意見交換会

■受講料＝無料

■定員／対象＝先着20人

過疎問題、市民活動で、IT活用に心のある方々

■申込締切＝5月25日（金）

申込み／お問い合わせ：ニコニコ会【ひきだ】

電話 080-3228-5315 E-mail: nikoniko@ybb.ne.jp

事業の成果

- ① 高齢者が誰でも参加できる勉強会を隔月1回に実施。これは、メディアセンターでカバーできない個人学習の悩みを、お茶でも飲みながら、みんなで助け合ってパソコンを自主学習する方法である。世界の情報の取得方法を学ぶことができ、これまで霧島市の地区公民館の生涯学習で実施できなかった内容の実現である。高齢者の外出の楽しみも増え、明るい話題と考えている。
- ② 浜下り行事等では、インターネット経由でYouTubeによる情報発信及びSNS (mixi) による情報交換を推進した。老若男女を問わない地域交流及び地域活性化の鍵となる提供の場として、今後、本事業の発展性が期待できる。
- ③ 近い将来、ネットスーパーが普及し、コンビニ等で高齢者も買い物する時代が到来すると予想される。一方、誤認逮捕も社会問題化している。高齢者へのインターネットショッピングに対する適切な個別対応が必要であると認識させられた。
- ④ 本事業を進める過程で、西牧之原地区公民館が通常のインターネット回線は、敷設できない地区であることが判明した。携帯の回線による接続は可能であったため、この地区で“高齢者とのふれあい交流”を実施、インターネット経由のビデオ通話 (Skype) を百歳の方が体験することができた。参加された高齢者の方々は大変驚いていた。今後、高齢過疎地における地区公民館の公共施設の積極的な活用が望まれること及びインターネット経由の情報交換の便宜を与えるために非整備地区の解消が必要であること。これらが切実な問題であることが理解できた。

自己評価

1. 事業効果

期待した効果が上がった。

2. 改善すべき課題

各地区公民館にインターネット回線の敷設とその活用が望まれる。更に霧島市で市民活動団体のための交流サイト・交流会は実施できないか。相互連携及び向上のために有益と思われる。

3. 予算執行

多少の変更があった。

介護予防拠点事業者との連携は不十分であったが、地区公民館関係者のご協力が得られたために、その活動の一環として、IT活用を通じた高齢者のための勉強会及び地域交流を推進し、本事業が大きく展開できた。

4. 今後の展望

霧島市の高齢化対策用に、ニコニコ会独自のIT技術による発信力 (Ustream や YouTube 等) と行動力があれば、都市部と地方を結ぶ公民館活動や各種行事の情報発信が大いに期待できると考えられる。

5. その他

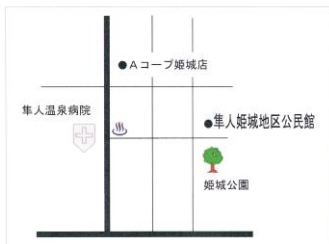
行政が考えるITと、高齢者の実態と社会的ニーズ (ネットショッピングの普及等) の高まりの間にギャップを感じる。本事業は社会的意義が十分あり、非営利団体として地道に継続・努力していきたい。



中高年のための インターネット入門講座

インターネットをつないだものの…
使い方を学びたい、楽しみ方をもっと広げたい
…という方のための入門講座です

主催：ニコニコ会
日時：平成24年 6月7日(木)～8日(金) 2日間
9:00～12:00
場所：隼人姫城地区公民館（霧島市隼人町姫城2-206）
講師：浜尻 浩伸
定員：10名
受講料：2000円（テキスト代を含む）
準備物：自分が使っているノートパソコン
申し込み・問い合わせ先
ニコニコ会事務局（070-5419-5315）
または 隼人姫城地区公民館（43-8244）
申し込み締め切り：6月1日（金）



ニコニコ会は
IT技術をサポートする
市民活動団体です



インターネットで安心をつなげよう
～高齢過疎地の安心を強める技術
と意見交換会～(H24.5.27)
場所:いきいき国分交流センター

中高年者のためのインターネット入門講座
(H24.6.7、6.8)

↓ 場所:隼人姫城地区公民館



団体情報

〈団体名〉ニコニコ会

〈代表者〉疋田 誠

〈設立日〉平成22年10月6日

〈会員数〉10人

〈主な活動内容〉

寄贈パソコンの申請（H23.2）

河川整備基金申請と採択と実施

（H23.4～H24.3）

天降川水辺のコンサート主催とライブ放映

（H23.8、H23.11）

隼人浜下り行事参加（H23.10）

中高年対象のインターネット活用セミナー

主催（H23.11）

本会の総会及び定例会開催（7回）

インターネット回線を通じたTV電話

（Skype）や電子掲示板（mixi）による意見
交換を日常的に実施している。

〈連絡先〉

所在地 〒899-4317

霧島市国分上野原テクノパーク 4-30-102

TEL 080-3228-5315

FAX 0995-55-0224

E-mail nikonikoftf@ybb.ne.jp

中高年のためのパソコン入門講座 文書作成（ワード）基礎

文字の大きさや**字体**の変更 図やイラストの挿入 など
見やすく楽しい文書の作り方を学び
趣味や地域活動につながる案内文やチラシを作りましょう

主催：ニコニコ会
日時：平成24年 6月23日、30日、7月7日（土）3日間
9:30～11:30
場所：隼人姫城地区公民館（霧島市隼人町姫城2-206）
講師：浜尻 浩伸
定員：10名
受講料：2000円（テキスト代を含む）
準備物：自分が使っているノートパソコン
申し込み・問い合わせ先
ニコニコ会事務局（070-5419-5315）
または 隼人姫城地区公民館（43-8244）
申し込み締め切り：6月16日（土）



ニコニコ会は
IT技術をサポートする
市民活動団体です

人権教育・啓発活動

＜特定非営利活動法人「人権を守る会かごしま」＞

事業費：190,111円

市補助金：63,000円

目的（背景・課題）

2011年10月29日に、「人権フェスティバル2011」を開催した。落語家の露の新治氏を講師に招き、市民に親しみやすい高座で行った。「人権について楽しく学ぶことができた」という参加者の感想を頂いた。本事業が市民に定着していけば、市民の人権問題に対する関心が高まり、日常に潜む地域の人権問題が浮かび上がり、その解決に向けた活動が展開されていくものと考ええる。

そこで、今年度は、子どもの権利条約に目を向け、昨年度の成果と課題を基に「人権フェスティバル2012」を開催し、その定着を図る。そして、本事業を継続しながら、人権をキーワードとする地域ネットワークの構築を目指す。

事業内容

- 4月6日 第1回理事会
- 4月17日 第2回理事会
- 4月28日 総会
- 5月9日 第3回理事会
- 6月4日 第1回事務局会議
- 6月12日 第4回理事会
- 7月12日 人権フェスティバル2012 第1回準備会議
- 8月2日 人権フェスティバル2012 第2回準備会議
- 8月29日 人権フェスティバル2012 第3回準備会議
- 9月12日 人権フェスティバル2012 第4回準備会議
- 9月26日 人権フェスティバル2012 第5回準備会議

10月22日 人権フェスティバル2012 第6回準備会議

10月27日 人権フェスティバル2012・講演会

11月28日 第5回理事会

2月7日 第6回理事会

3年目にして、事務局の係が毎年交代するという状況の中での人権フェスティバルの取り組みだったため、どういう講演にするか何回も事務局会議を重ねてイメージ作りをせざるをえなかった。忙しい中、理事はよく集まって遅くまで熱心に話し合い意見を出してくれた。

事業の成果

今年度は、九州東海大学教授の山下雅彦さんを招き、子ども達の問題を、「子どもの権利条約」に照らし合わせながら考えてもらう啓発活動の場として講演会を取り組んだ。山下さんは、最近訪ねたデンマークの保育園の子ども達の様子をスライドで紹介しながら、子どもとの向き合い方を考えさせてくれた。感想では、「多忙な学校現場で、少しでも子どもたちとともに過ごしたいと思う」「子どもとどう関わるか。権利条約をもう一度見直し、子どもの立場に立っていく教育を目指したい。学校の一日のスケジュールが忙しすぎる」など、子どもたちが余裕のない生活をさせられている現状に向き合い直そうとする意見が見られた。講演会としては、それなりの成果があったのではないかと。参加者数は86人で、呼び掛け方がもう一工夫必要だと思う。





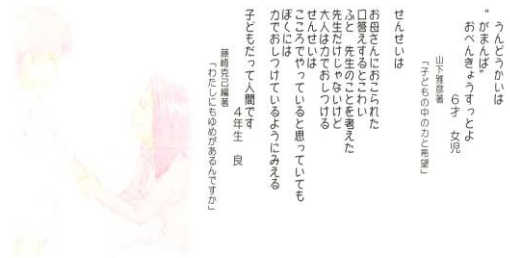
人権フェスティバル2012

～子どもの夢がつながる明日のために～

日時：2012年10月27日（土） 開場 13:00 講演 13:30～16:00

会場：霧島市国分シビックセンター（2F多目的ホール） 入場無料

講師：山下雅彦さん（九州東海大学教授）



子どもの向き合い方を「子どもの権利条約」にそとていっしよに考えてみませんか？

山下雅彦さんのプロフィール

子どもの権利条約市民・NGO報告書を作る会起筆委員
熊本子育て教育運動交流会事務局長 九州東海大学教授



「ユーモアたっぷり、分かりやすい話し方…
子どものこと平和を守ることによる生命」

主催：特定非営利活動法人『人権を守る会かごしま』
問い合わせ：加来宗暁（090-2711-1800） 田村朝子（090-4511-6052）
後援団体：霧島市 霧島市教育委員会 霧島市PTA連絡協議会 霧島市社会福祉協議会 霧島市民生委員児童委員協議会
霧島市自治体公民館連絡協議会 霧島市保育協議会 霧島市商工会 鹿児島県人権・同和教育研究協議会
始良地区人権・同和教育研究協議会 霧島市人権・同和教育研究協議会 都農解放同盟鹿児島県連合会
鹿児島県教職員組合始良・伊佐地区支部 鹿児島県高等学校教職員組合始良・伊佐地区支部
連合始良・伊佐地区支部 始良・伊佐ブロック平和運動センター ハンセン病問題市民会議鹿児島
県山事件を考える霧島住民の会

自己評価

1. 事業効果

期待した効果が上がった。

2. 改善すべき課題

開催時期の検討と参加呼び掛けをもう少し工夫する必要がある。事務局体制の変更があったため、会員に向けての日程の連絡が遅れてしまったり、チラシ配布が届かなかつたりしている。年度初めに年間の取り組み日程をもっときちんと知らせる必要がある。

3. 予算執行

ほぼ予定どおり執行できた。

4. 今後の展望

来年度は、もう一度部落差別問題をテーマに、会員を主体にした学習会が取り組めないか検討中である。若い世代やそれぞれの組織や立場で人権・同和教育を取り組む人たちとの交流ができれば、もっと取り組みの関係が深まるのではないかとと思う。

5. その他

これまで3回とも講演中心の取り組みになっているので、参加者ももっと自由に意見を言えるような交流の形やパネルディスカッションなども取り入れていったらと思う。

団体情報

〈団体名〉特定非営利活動法人

『人権を守る会かごしま』

〈代表者〉加来 宗暁

〈設立日〉平成22年8月2日

〈会員数〉45人

〈主な活動内容〉

平成22年12月

人権フェスティバル2010開催

平成23年10月29日

人権フェスティバル2011開催

〈連絡先〉

所在地

〒899-6401

霧島市溝辺町有川503番地

TEL 0995-59-2321

FAX 0995-59-2924

平成 24 年度 霧島市市民活動支援事業募集要項 (抜粋)

1 趣旨

近年、市民ニーズが複雑・多様化している中で、さまざまな市民グループにより地域の課題の解決やよりよい市民生活の実現のために、自主的・自立的な活動が行われています。このような市民グループが行う公益的(公共的)な活動に対して、その経費の一部を補助することにより、市民活動を促進し、共生・協働のまちづくりを進めるために、平成 20 年度から実施。

2 応募できる団体

ボランティア団体、NPO 法人などの市民グループ (法人格の有無は問いません)
(主たる構成員が市内在住者等で、5 人以上の団体。地区自治公民館・自治会は対象外)

3 補助対象となる事業

公益的(公共的)なサービスを提供する市民グループの活動
(これまでの活動を拡充する活動、新たに実施する活動)

4 補助額

補助対象経費の 3 分の 2 以内で、50 万円を限度とし、同一事業の補助申請は 3 回まで。

5 補助の対象となる経費

事業を実施するために直接必要とする経費

6 審査・選考方法

書類審査とプレゼンテーション(事業計画発表)による選考審査会を開催し、決定。

7 審査基準

(1) 公益性

事業の効果が、特定の者に限定されず、地域社会にひろく貢献するものであるか。

(2) 地域社会における必要性 (課題解決性)

地域社会の課題を的確に捉え、また、市民ニーズに対応し、その解決策として有効か。

(3) 先駆性・創造性

応募団体の既存事業を発展・拡充するもの又は新たに実施するものであるか。また、迅速性・専門性など特性を活かしたものであるか。

(4) 実現性

事業計画や実施体制は、具体的で実現可能なものであるか。

(5) 将来性

活動・効果が一過性でなく継続性が期待できるか。また、広く波及効果が期待できるか。

8 事業スケジュール

平成 24 年 1 月 31 日	募集期限
2 月 10 日	書類審査 (一次審査)
2 月 17 日	プレゼンテーション審査 (二次審査)
3 月中旬	選考結果発表
4 月～翌年 2 月末	事業実施
平成 25 年 4 月 22 日	意見交換会 (事業成果報告会)

9 情報公開

応募状況、選考結果等について、市のホームページ等で公開します。

平成 24 年度 霧島市市民活動支援事業 応募・採択内訳

1 選考審査の結果

区 分	応 募	採 択
団 体 数	19 団体	18 団体
N P O 法 人	6 団体	5 団体
----- その他の団体	13 団体	13 団体
事 業 数	19 事業	18 事業
補 助 希 望 額	6,132,500 円	4,977,000 円

2 分野別内訳

分 野 別	応 募	採 択
保健・医療・福祉	2	2
人権擁護・平和	1	1
まちづくり	7	7
学術・文化・芸術・スポーツ	3	3
環境保全	1	1
子どもの健全育成	3	3
観光振興	1	0
農山漁村振興	1	1
合 計	19	18

平成 24 年度 霧島市市民活動支援事業 実施結果

	分野	団体名	事業名	事業概要	補助額(円)
1	子どもの健全育成	特定非営利活動法人霧島食育研究会	第2期 霧島食育サポーター育成講座 ～「すがめちゃん食育プログラムの開発と実証」～	霧島の食文化、食生活事情に配慮した食育教材を開発するとともに、市民を対象に食育リーダーの養成講座を行い、一般市民及び若者への食に対する意識と行動の変化を促し、さらに在住地や職場・学校等での食育活動の活性化を促進させる。	375,000
2	農山漁村振興	佳例川を語る会	佳例川活性化事業	元気なふるさと再生事業(限界集落)である佳例川地区の活性化を図るため、傳承されてきた祭りを守ると共に佳例川産米のPRを行って、地域に多くの人が来訪するきっかけとしたい。	168,000
3	子どもの健全育成	語りの会 あもり	「物語の世界」～子どもたちに伝えたい、たいせつなもの～	子どもを取り巻く人間関係が希薄になっている現在、読み聞かせの良さ、大切さを子どもに関わる多くの大人に理解してもらい、聞き手、語り手の質・量とも高め、市内全域に輪を広げていきたい。	113,000
4	まちづくり	特定非営利活動法人 隼人シニアネットきずな	お互いに楽しく支え合うまちづくりに関する事業	伝統行事である「浜下り」に参画し、これに合わせて地域のイベントを開催することで地域のきずなが生まれ、世代間交流や青少年の健全育成が図られるとともに、高齢者の健康増進や生きがい対策にもつながる。	450,000
5	保健・医療・福祉	特定非営利活動法人ピアサポートきりしま	華炭を通じて(生産・アレンジ)交流会事業	華炭(果物や草花等を炭化させたもの。)を障害者及びグレーゾーンの人々が作成・加工を行い、それを通して様々な層の人々と交流を図るとともに、華炭を霧島市の新たな産品としてPRを行い、彼らの「仕事」につなげていきたい。	事業中止
6	まちづくり	エコミュージアム福山	福山まるごと博物館	歴史・自然・文化などを地域遺産・資源を総合的に学び・守り・伝え・活かすことを通じて地域の活性化を図るエコミュージアム理念を土台として、福山の特性を活かしたまちづくりを進め、地元の魅力を引き出し地域を元気にしたい。	187,000
7	まちづくり	オーシャンビューガーデンクラブ	旧田中家別邸を生かすふるさと再発見事業	文化財である旧田中家別邸の庭園、建築物や歌人東野駈句楼の史跡と、敷地内に咲き誇る絶滅危惧種のおきな草も含めてその魅力をイベント等を通して発信し、広く市民にふるさとの文化を再発見していただく。	266,000
8	学術・文化・芸術・スポーツ	きりしま創造舞台	自主ミュージカル公演事業	平成 22 年の霧島市制 5 周年記念の市民参加型オリジナルミュージカルを、再演希望の声に応じて再度公演するもので、東日本大震災の被害など暗いニュースが多い現在、このようなときに絆と明日への希望を与えるミュージカルで霧島から元気を発信したい。	450,000
9	まちづくり	日当山会	日当山駅近辺の整備計画による日当山温泉の活性化事業	日当山駅近辺の整備を関係機関と協議しながら、環境美化活動や観光マップの改訂、イベントの開催などの活動を行って、日当山のすばらしさを発信し、この地域の活性化を図る。	94,000

	分野	団体名	事業名	事業概要	補助額(円)
10	まちづくり	日当山夏祭り実行委員会	日当山夏祭り	子どもから大人まで総参加型の夏祭りを開催し、地域の活性化を図りたい。また、祭りの中で小規模でも花火を打ち上げ、日当山温泉の観光振興の一助としたい。	450,000
11	学術・文化・芸術・スポーツ	霧島市子ども囲碁教室実行委員会	きりしま子ども囲碁教室	小学生以下の子どもを対象に囲碁教室を開講し、棋力の向上はもちろん、囲碁を通して心豊かな青少年の健全育成を図る。	210,000
12	まちづくり	霧島単人秋の収穫祭実行委員会	日当山秋の収穫祭	収穫祭を開催し、単人・日当山地区の農水産物の紹介・販売や、新たな地元食材によるメニューの提案等を行う。併せて、農業体験事業を実施するなど、地域の活性化を図る。	500,000
13	まちづくり	単人宮内会	地域活性化観光の振興を図る事業	鹿児島神宮を中心に歴史・文化的史跡の多く残る単人宮内地区の観光マップの作成や、レリーフ・看板を設置する。また、初午祭にあわせ春の市を開催し、観光の振興及び地域の活性化を図る。	300,000
14	学術・文化・芸術・スポーツ	はやとの風	はやとの風(がねのおもてなし)	郷土料理「がね」の調理・実演販売活動を通して、霧島を訪れる皆様においしいおもてなしをし、郷土の食文化を継承していきたい。	事業中止
15	保健・医療・福祉	ニコニコ会	高齢過疎地域におけるIT活用のいきいきネットワークづくり事業	住民主体のインターネット・ITを活用したネットワークを作って地域の活性化を図り、地域の情報発信や高齢者を含む幅広い層の交流を支援する。その結果、高齢者にとって地域社会の情報取得が容易になり、地域社会への参画が期待できる。	285,000
16	環境保全	駅前ホテル会	ホテルの散歩道光害対策事業	霧島温泉駅前地域に生息するホテルを保護・育成し、周辺の整備を行い、より多くの市民に自然の素晴らしさと環境保全の必要性を訴えていく。	事業中止
17	子どもの健全育成	特定非営利活動法人霧島自然菜園倶楽部	山里遊びプロジェクト～森・土・水は仲良し～	有機農法体験を通して、森・土・水の繋がりと自然の大切さを学び、収穫の喜びも遊びの中から体感することにより、安全な農業、健康な食生活へ導く手助けとなり、市民の健康へ繋がっていく。	事業中止
18	人権擁護・平和	特定非営利活動法人『人権を守る会かごしま』	人権教育・啓発事業	社会の中で存在するあらゆる差別を解消し、差別なく尊敬しあう関係の構築に向けて、広く市民とともに未解決の人権問題について考えるための「人権フェスティバル 2012」を開催する。	63,000
合 計					3,911,000

平成 24 年度
霧島市市民活動支援事業成果報告書

平成 25 年 9 月

霧島市役所 企画部 共生協働推進課

〒899-4394 霧島市国分中央三丁目 45 番 1 号

T E L 0995-64-0988 (直通)

F A X 0995-47-2522

E-mail kyodo@city-kirishima.jp